

●サクラメント市との姉妹都市交流について

団員 大木 健太郎

本市とサクラメント市は、昭和56年8月に姉妹都市提携に関する盟約を取り交わし、以降、それぞれの代表団・市民団体の相互訪問や松山サクラメント協会とサクラメント松山協会が中心となって、小・中学生、高校生、ボーイスカウト、スポーツ団体等の青少年相互派遣などにより交流を深めている。



(2024年春に完成予定との看板)

今回の視察では、令和6年1月21日にサンフランシスコに到着後、サクラメント市に向けバスで約2時間かけて移動し、最初の視察先である「ロバート T・マツイ 公園」を見学した。「ロバート T・マツイ 公園」は、サクラメント川流域再開発計画に基づいて再整備を進めている市民公園で

科学博物館のほか、サクラメントの発展に寄与した日系人に敬意を表し、日本風の眺望を備えた区画に桜並木の整備が進められている。その桜並木は通称「Hanami Line(ハナミライン)」と呼ばれている。

現地では、サクラメントツリー財団のローラ・ガルシアさんからの説明があり、新型コロナウイルスの影響で当初の計画から遅れているが、令和5年6月に着工式が行われ整備が進めら



(サクラメントツリー財団ローラさんの説明)

れており、完成したら「Hanami Line(ハナミライン)」はサクラメント市民や観光客がサクラメント川沿いの100本の桜を楽しめる場所となると期待していた。

また、視察前の事前勉強会で観光・国際交流課から「Hanami Line(ハナミライン)」には「Matsuyama Dori(松山通り)」と名付けられた歩道ができることから、この歩道に設置するためマンホールの蓋の提供依頼があり、令和3年にマンホールの蓋を送ったとのことであったので、



(工事中の Hanami Line)

そのマンホールの蓋を探してみたが、工事のため中には入れなかったため残念ながら確認はできなかった。

今年の春には完成予定であるとのことだったが、実際に現場を見ると、まだ工事中で完成までにはもう少し時間がかかりそうな印象を受けた。来年の春には100本の桜が満開で市民や観光客の憩いの場になっていることだろう。

「Hanami Line(ハナミライン)」が完成した際には、再び、この地を訪れて100本の桜並木の中をゆっくりと歩きたいと思う。

公園を視察後、松山サクラメント姉妹都市協会の皆さんとの交流夕食会を開催していただき、会長のグロリア・エスペホさんはじめ、サクラメント市議会のリック・ジェニングズ議員や協会員など約



(交流夕食会)

40名の皆さんとの意見交換の場となり、盛大な歓迎を受けるとともに有意義な交流の時間を過ごすことができた。

翌日の1月22日は、サクラメント市役所を表敬訪問し、市議会の議場を見学させていただいた。サクラメント市議会は、市全体で8地区に分類され、それぞれの地区に議員は1人なのでサクラメント市の議員は8人であり、その8人の中に副市長も含まれるとのことであった。



(市議会議場での意見交換)

今回は残念ながらダレル・スタインバーグ市長にお会いすることができなかったが、昨夜に引き続いてリック・ジェニングズ議員に出迎えられ、議場で議席に座らせていただき、終始和やかな雰囲気の中で意見交換などを行った。

終わりに、この視察でのサクラメント市の滞在は、約24時間と短い時間であったが、サクラメント協会の皆さんとの交流や議場見学など、貴重な体験をさせていただき関係者各位に感謝するとともに、これからも「松山サクラメント姉妹都市協会」と「サクラメント松山姉妹都市協会」とが中心となって姉妹都市交流がますます活発に行われることを期待し、私の視察報告とする。